

「血清アミロイド A(動物)」 自検開始のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

さて標記項目につきまして、従来ヒト用臨床検査試薬での外注検査として受託しておりましたが、この度、多種多様な動物種の測定に対応した動物専用試薬が販売されたことを受け、自社内検査として実施することと致しましたのでご案内致します。

弊社では皆様のご要望にお応えすべく、今後とも検査の新規拡大に努めてまいります。

謹白

記

対象項目/変更内容

変更内容	新 (全動物種)	旧	
		ネコ以外	ネコ
項目コード	4126	1761	4087
項目名	アミロイド A 蛋白(SAA) 動物	血清アミロイド A 蛋白 (SAA)	ネコ SAA
使用試薬	動物専用試薬	臨床検査用試薬	ネコ専用試薬
検査方法	LA 法	LA 法	LA 法
基準値	設定なし	3.0 mg/L 未満 * 動物検体は参考値	6.00 μ g/mL
報告下限	5.0 mg/L 未満	2.0 mg/L 未満	3.75 μ g/mL 未満
報告上限	999,999 mg/L 以上	99,900,000 mg/L	150 μ g/mL 以上

※ 測定可能な動物種は次項を御覧ください。

※ 多種多様な動物種への対応のため基準値の設定はございません。

変更期日

- 令和4年8月1日(月) 受付日分より

アミロイド A 蛋白(SAA)

血清アミロイド A(SAA)は、体内で炎症反応や組織の破壊が起きている際に肝臓で産生される急性相反応性蛋白質の一種で、炎症マーカーとして使用されています。

炎症マーカーとして他に CRP、 $\alpha 1$ 酸性糖蛋白($\alpha 1$ -AG)、フィブリノーゲン、ハプトグロビンなどがありますが、CRP と SAA は反応が速く、また濃度の変動率も大きいいため特に炎症マーカーとしての臨床的有用性が高いとされています。

しかしながらヒト用臨床検査用試薬では交差反応性の違いから一部動物種を除いては SAA の測定はできませんでした。

本検査で使用する動物専用試薬は、従来のヒト用臨床検査用試薬と比較して、ウマ、ネコ、イヌ、ウシ、ウサギ、サルなどの幅広い動物種の SAA に対して高い交差反応性を持つように設計された試薬です。

測定可能な動物種 (新旧比較) *文献調査も含む

目	科	種	動物用試薬	ヒト用試薬
ウマ目	ウマ科	ウマ	○	○
		シュットランドポニー	○	○
		グラントシマウマ	○	×
食肉目	ネコ科	ライオン	○	○
		チーター	○	○
		ネコ	○	○
	イヌ科	イヌ	○	×
		タヌキ	○	×
鯨偶蹄目	ウシ科	ウシ	○	×
		ブラックバック	○	○
		アジアスイギュウ	○	不明
	シカ科	アカシカ	○	○
イノシシ科	ブタ	○	×	
霊長目	オナガザル科	ボンネットモンキー	○	×
		クロザル	○	×
		トクモンキー	○	×
		パタスモンキー	○	×
		ブラッサグエノン	○	×
	オマキザル科	フサオマキザル	○	○
		リスザル	○	○
	テナカザル科	シロテナガザル	○	○
キツネザル科	ワオキツネザル	○	×	
ウサギ目	ウサギ科	ウサギ	○	×

○：測定可能 ×：測定不可